



2025年9月期 決算説明

株式会社 丸山製作所

代表取締役社長 内山剛治

次の100年を創る
-All for the Future-



目次

1. 2025年9月期 業績概要 P. 2
2. 2026年9月期 業績予想 P.12
3. 第8次中期経営計画 P.19
4. 参考資料 P.32
会社概要 財務諸表 等



1 2025年9月期 業績概要

【2024年10月1日～2025年9月30日】

2 2026年9月期 業績予想

【2025年10月1日～2026年9月30日】

3 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4 参考資料

会社概要 財務諸表 等

2025年9月期 業績概要

単位：百万円	2024年9月期 実績		2025年9月期 通期予想	2025年9月期 実績				
	金額	売上高 比率		金額	金額	前年同期比		売上高 比率
						増減額	増減率	
売上高	40,006	—	41,000	41,266	1,260	3.2%	—	
営業利益	1,168	2.9%	1,200	1,080	▲87	▲7.5%	2.6%	
経常利益	1,109	2.8%	1,200	1,173	63	5.8%	2.8%	
当期純利益	597	1.5%	700	743	145	24.4%	1.8%	
為替レート 米ドル	150円		145円	149円				
為替レート ユーロ	163円		160円	165円				

経済

- ・ 個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大に加えて、各種政策の効果もあり、景気回復は緩やかな動き
- ・ 地政学的緊張の長期化による資源やエネルギー価格の高騰
- ・ 金融市場の不安定化や物価上昇などによる先行き不透明な状況の継続

変動要因

- 【日本】 ・ 大型防除機の増加 ・ 動力噴霧機の増加
- 【海外】 ・ 欧州向け工業ポンプの増加 ・ 北米向け工業用ポンプおよび刈払機の減少

農林業用機械

- ・ 動力噴霧機
- ・ 動力散布機
- ・ 大型防除機
- ・ 刈払機
- ・ チェンソー
- ・ その他



工業用機械

- ・ 工業用高圧ポンプ
- ・ 高圧洗浄機
- ・ ウルトラファインバブル製品



その他の機械

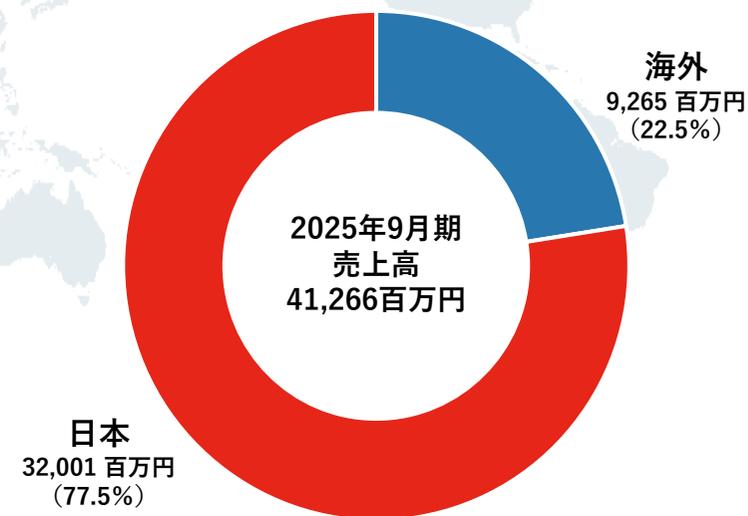
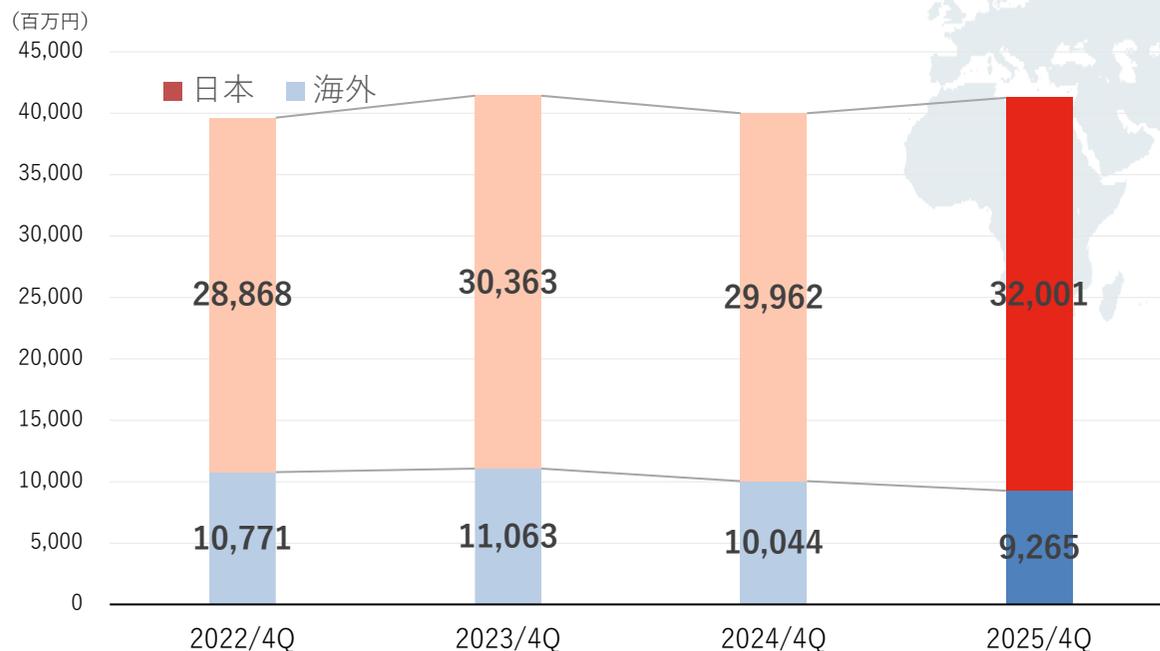
- ・ 消火器
- ・ 防災関連機器
- ・ 環境衛生用機械
- ・ その他



不動産賃貸他

- ・ 不動産賃貸
- ・ 売電事業

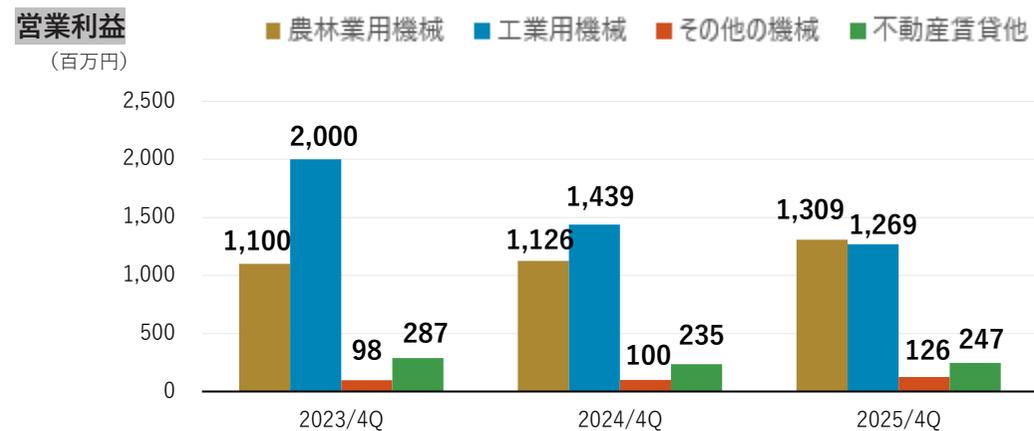
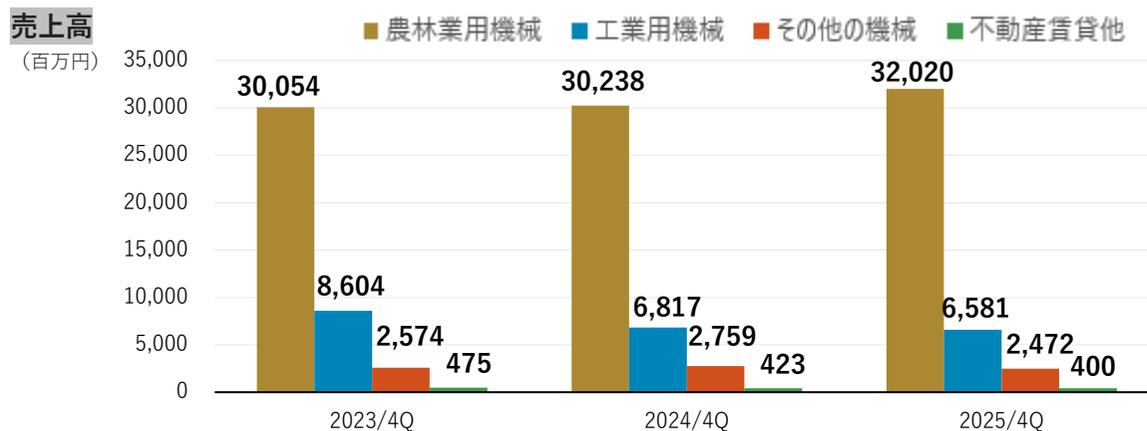
海外の売上高の状況



単位：百万円	2024年9月期 実績		2025年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
海外	10,044	25.1%	9,265	▲778	▲7.7%	22.5%
日本	29,962	74.9%	32,001	2,038	6.8%	77.5%

セグメント別 業績概要

単位：百万円	2024年9月期 実績			2025年9月期 実績							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	前年同期比		売上高 構成比	営業 利益	前年同期比		営業利益 構成比
					増減額	増減率			増減額	増減率	
農林業用機械	30,238	75.1%	1,126	32,020	+1,782	+5.9%	77.2%	1,309	+183	+16.3%	44.3%
工業用機械	6,817	16.9%	1,439	6,581	▲236	▲3.5%	15.9%	1,269	▲169	▲11.8%	43.0%
その他の機械	2,759	6.9%	100	2,472	▲286	▲10.4%	6.0%	126	+25	+25.4%	4.3%
不動産賃貸他	423	1.1%	235	400	▲22	▲5.3%	0.9%	247	+12	+5.4%	8.4%
調整額 (セグメント間取引)	▲232	—	▲1,733	▲208	+23	—	—	▲1,873	▲139	—	—
合計 (うち海外)	40,006 (10,044)	100.0% (25.1%)	1,168	41,266 (9,265)	+1,260 (▲778)	3.1% (▲7.7%)	100.0% (22.5%)	1,080	▲87	▲7.5%	100.0%

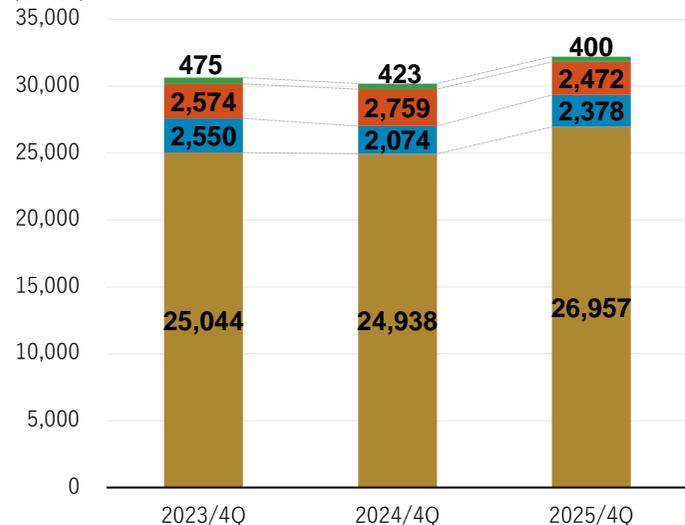


セグメント別 売上高 [日本]

農林業用機械：大型防除機の増加、動力噴霧機の増加
ホームセンター向け刈払機の増加

売上高

(百万円)



不動産賃貸他

400 百万円
(1.2%)

その他の機械

2,472 百万円
(7.7%)

工業用機械

2,378 百万円
(7.4%)

2025年9月期
売上高[日本]
32,001百万円

農林業用機械

26,957 百万円
(83.7%)

単位：百万円	2024年9月期 実績		2025年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	24,938	82.6%	26,957	+2,019	+8.1%	83.7%
工業用機械	2,074	6.9%	2,378	+304	+14.7%	7.4%
その他の機械	2,759	9.1%	2,472	▲286	▲10.4%	7.7%
不動産賃貸他	423	1.4%	400	▲22	▲5.3%	1.2%

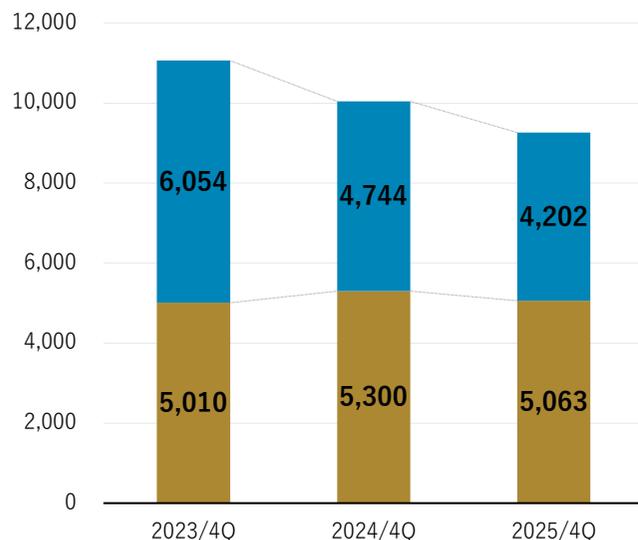
※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

セグメント別 売上高 [海外]

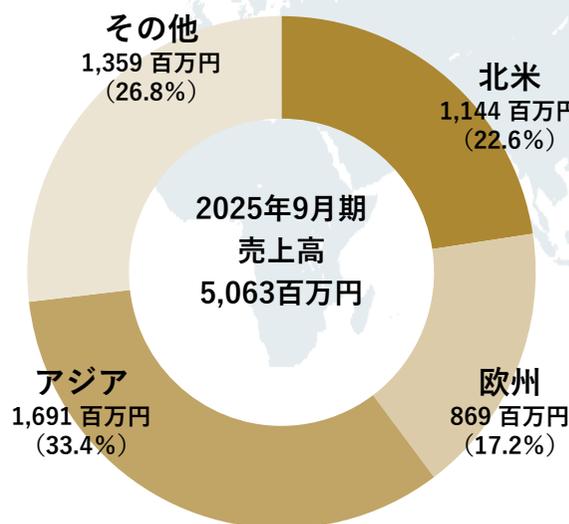
農林業用機械：欧州向けの刈払機の増加、北米向けの刈払機の減少
 工業用機械：欧州向けのポンプの増加、北米向けのポンプの減少

売上高

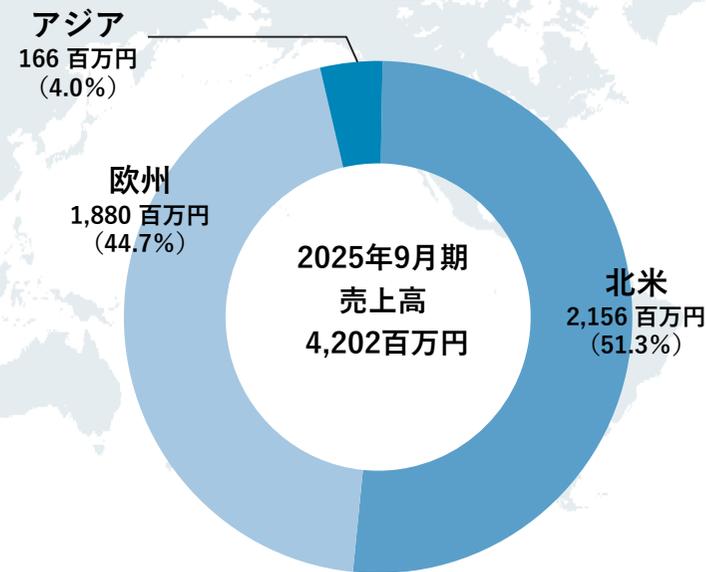
(百万円)



農林業用機械



工業用機械



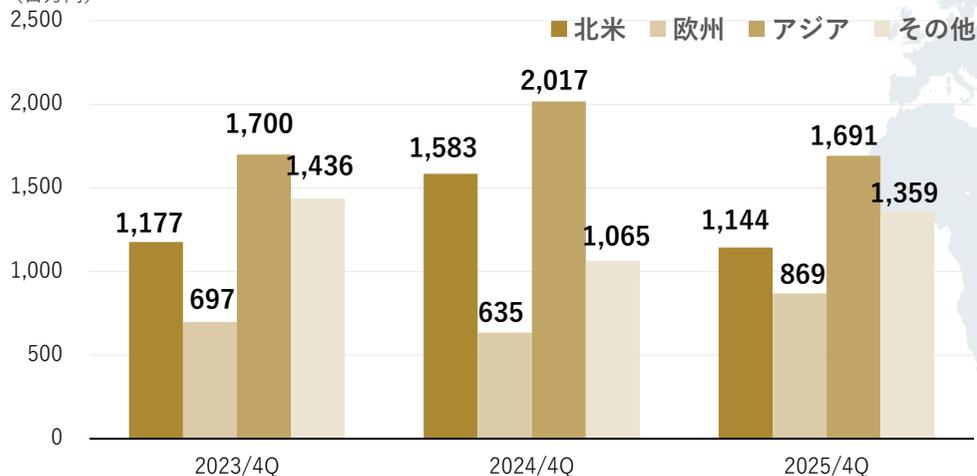
単位：百万円	2024年9月期 実績		2025年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	5,300	52.8%	5,063	▲237	▲4.5%	54.6%
工業用機械	4,744	47.2%	4,202	▲540	▲11.4%	45.4%

※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

セグメント別 売上高 [海外地域別]

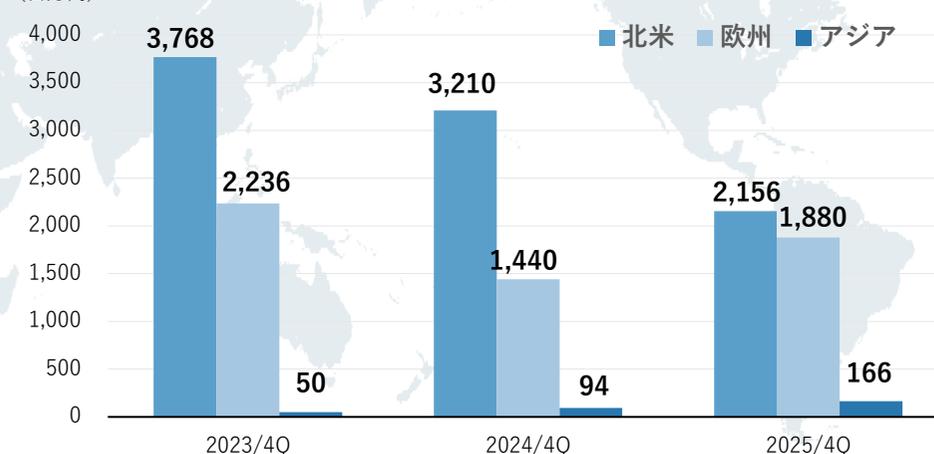
売上高 [農林業用機械 地域別]

(百万円)



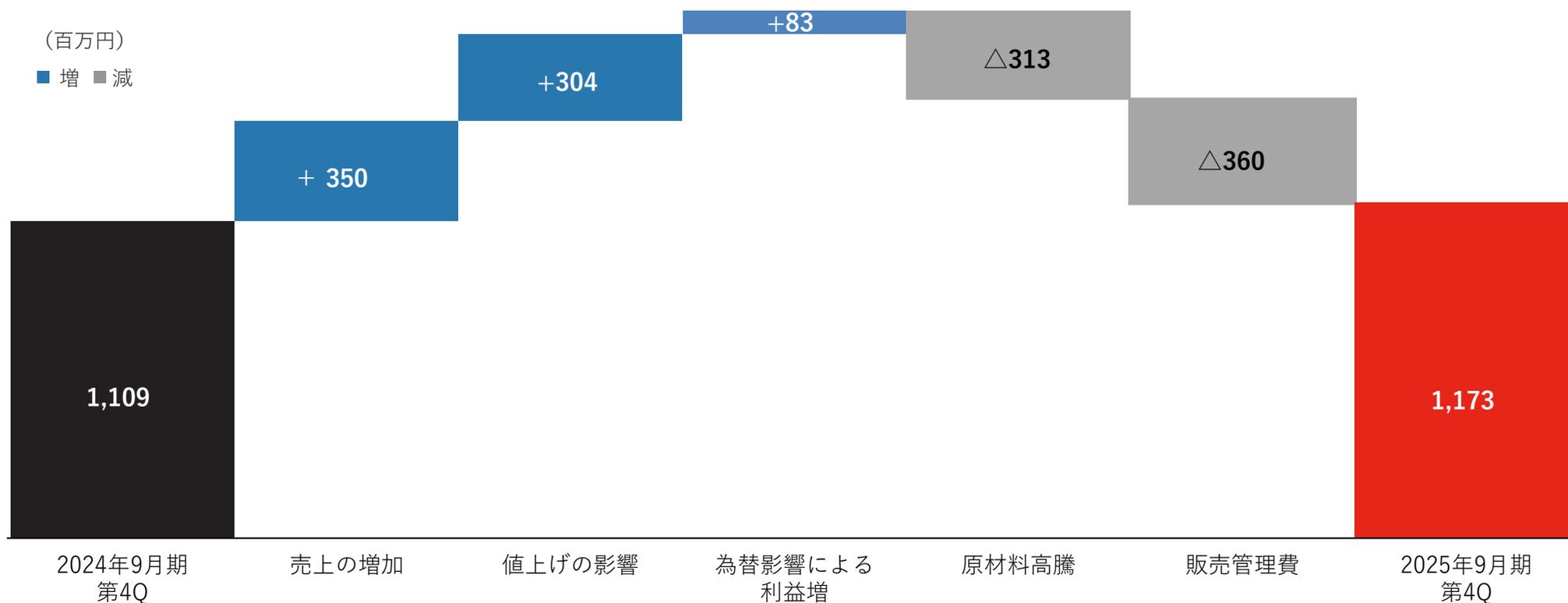
売上高 [工業用機械 地域別]

(百万円)



単位：百万円	2024年9月期 実績		2025年9月期 実績			
	売上高	売上高 構成比	売上高	前年同期比		売上高 構成比
				増減額	増減率	
農林業用機械	5,300	52.8%	5,063	▲237	▲4.5%	54.6%
北米	1,583	15.8%	1,144	▲439	▲27.7%	12.3%
欧州	635	6.3%	869	+234	+36.9%	9.4%
アジア	2,017	20.1%	1,691	▲326	▲16.2%	18.2%
その他	1,065	10.6%	1,359	▲294	+27.6%	14.7%
工業用機械	4,744	47.2%	4,202	▲542	▲11.4%	45.4%
北米	3,210	32.0%	2,156	▲1,054	▲32.8%	23.3%
欧州	1,440	14.3%	1,880	+440	+30.6%	20.3%
アジア	94	0.9%	166	+72	+76.6%	1.8%

2025年9月期 増減益要因分析 [経常利益]



【+】 売上の増加 (+350)、値上げの影響 (+304) 為替影響による利益増 (+83) が主な要因

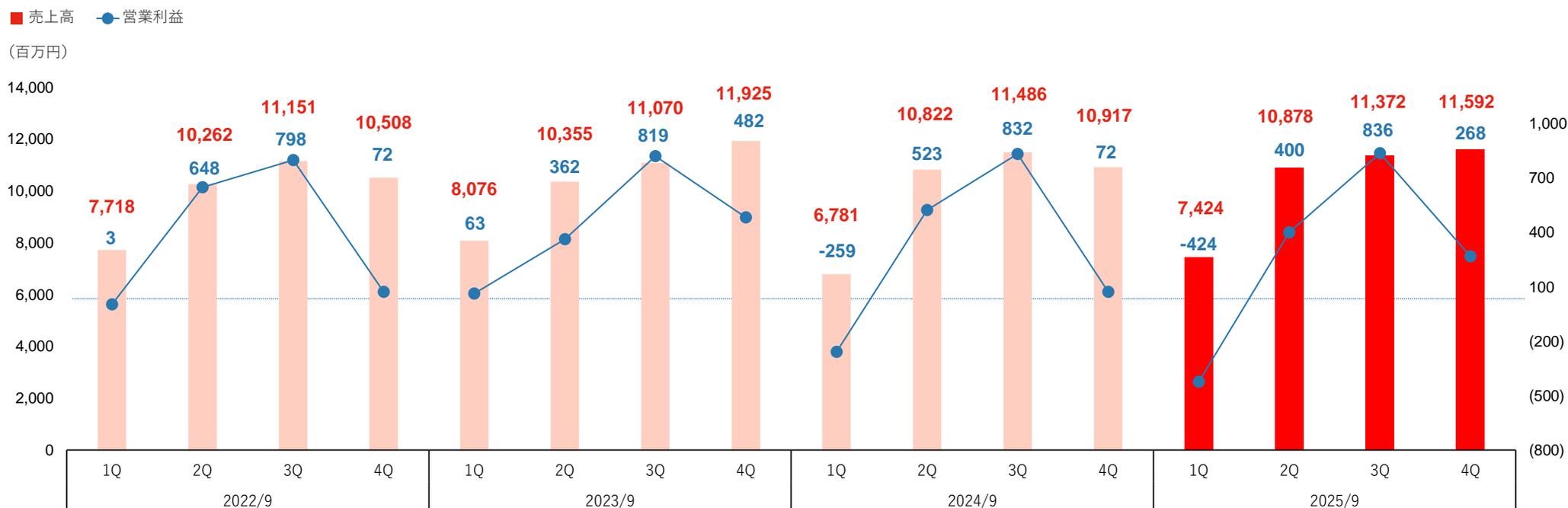
【-】 原材料高騰等の影響 (△313) 販売管理費の増加 (△360) が主な要因

売上高・営業利益の推移 [四半期ベース]

売上高は 41,266 百万円 (前年同期比 3.2%増)

営業利益は 1,080 百万円 (前年同期比 7.5%減)

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。





1

2025年9月期 業績概要

【2024年10月1日～2025年9月30日】

2

2026年9月期 業績予想

【2025年10月1日～2026年9月30日】

3

第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

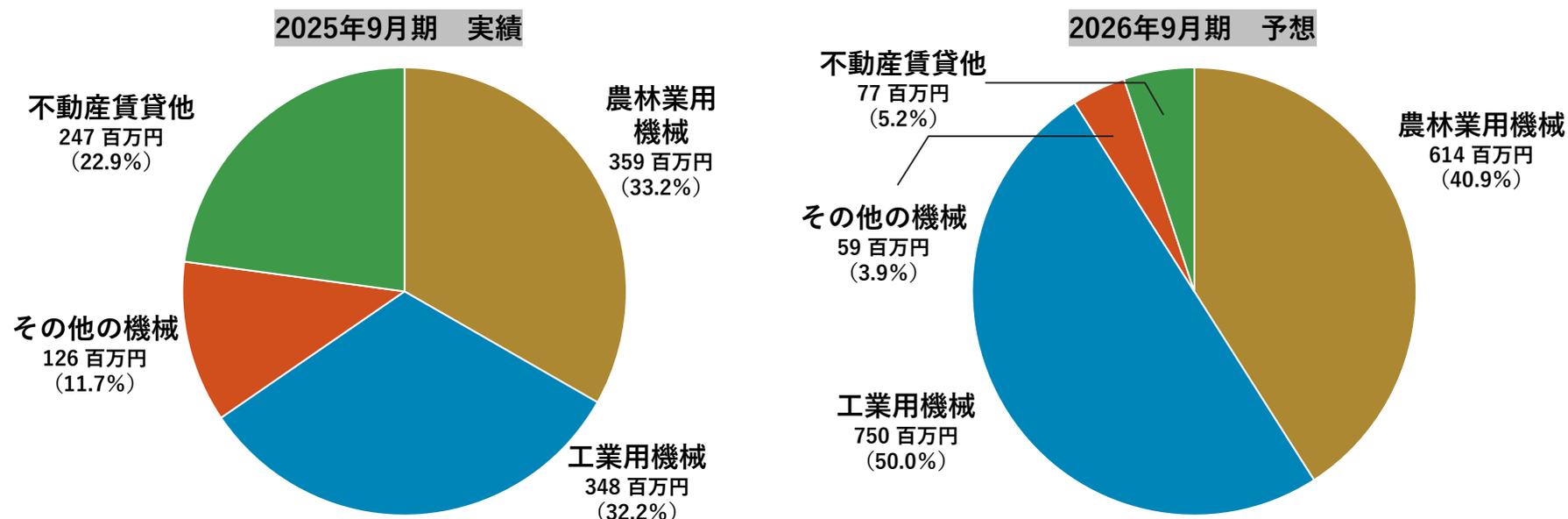
2026年9月期 業績予想

単位：百万円	2025年9月期 実績		2026年9月期 通期予想				2026年9月期 第2四半期予想	
	金額	売上高 比率	金額	前年同期比		売上高 比率	金額	前年同期比 増減率
				増減額	増減率			
売上高	41,266	—	42,000	+734	+1.8%	—	18,500	+1.1%
営業利益	1,080	2.6%	1,500	+420	+38.9%	3.6%	350	—
経常利益	1,173	2.8%	1,500	+327	+27.8%	3.6%	350	—
当期純利益	743	1.8%	900	+157	+21.1%	2.1%	200	—
為替レート 米ドル	149円		145円					
為替レート ユーロ	175円		165円					

2026年9月期 セグメント別業績予想

単位：百万円	2025年9月期 実績			2026年9月期 予想							
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	売上高 増減額	売上高 増減率	売上高 構成比	営業 利益	営業利益 増減額	営業利益 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	32,020	77.2%	1,309	32,150	+130	+0.4%	76.3%	1,350	+41	+3.1%	40.9%
工業用機械	6,581	15.9%	1,269	7,000	+419	+6.4%	16.6%	1,650	+381	+30.0%	50.0%
その他の機械	2,472	6.0%	126	2,680	+208	+8.4%	6.4%	130	+4	+3.2%	3.9%
不動産賃貸他	400	0.9%	247	300	▲100	▲25.0%	0.7%	170	▲77	+31.2%	5.2%
調整額 (セグメント間取引)	▲208	-	▲1,871	▲130	+77	-	-	▲1,800	+71	-	-
合計	41,266	100.0%	1,080	42,000	+734	+1.8%	100.0%	1,500	+420	+38.9%	100.0%

セグメント別 営業利益予想



単位：百万円	2025年9月期 実績		2026年9月期 予想			
	営業利益	営業利益構成比	営業利益	前年同期比増減額	前年同期比増減率	営業利益構成比
農林業用機械	359	33.2%	614	+255	+71.0%	40.9%
工業用機械	348	32.2%	750	+402	+115.5%	50.0%
その他の機械	126	11.7%	59	▲67	▲53.2%	3.9%
不動産賃貸他	247	22.9%	77	▲170	▲68.8%	5.2%

対処すべき課題

第8次中期経営計画達成に向け、4年目である2026年9月期は以下6項目を重点に活動いたします。

重点項目		取組み内容	
①	海外市場の拡大	インド	2年程度で操業開始予定で大型防除機生産拠点工場を建設に着手 自社調達・自社生産・自社販売に向け活動を展開
		タイ	トータルコストダウンへの取組み、タイ国内での販売強化
		ベトナム	販売部門設置による新流通の開拓 2年程度で操業開始予定で部品製造、ポンプ組立拠点の新法人・工場の立ち上げ
		米国	大型防除機市場でのMARUYAMAブランドの確立
		コロンビア	現地法人設立による現地に根差した製品、サービスを展開
②	新市場 工業用機械市場の拡大	全営業所への専門担当者配置による工業用機械・ウルトラファインバブル市場の拡大	
		市場開拓を可能とする競争力ある製品の開発	
		ウルトラファインバブル製品の海外展開による、MARUYAMAブランドの向上	
③	品質向上 開発体制の整備	品質向上に向けた新製品・新規取扱部品に対する検証体制の整備	
		サプライヤー様と協業した品質向上への取組み	
		技術本部新設による、グローバル目線での製品の開発	
		スマート農業製品や将来の新市場を創る活動の展開	
		研究開発関連の更なる深耕を目的としたR&Dセンターを千葉工場内に建設	

対処すべき課題

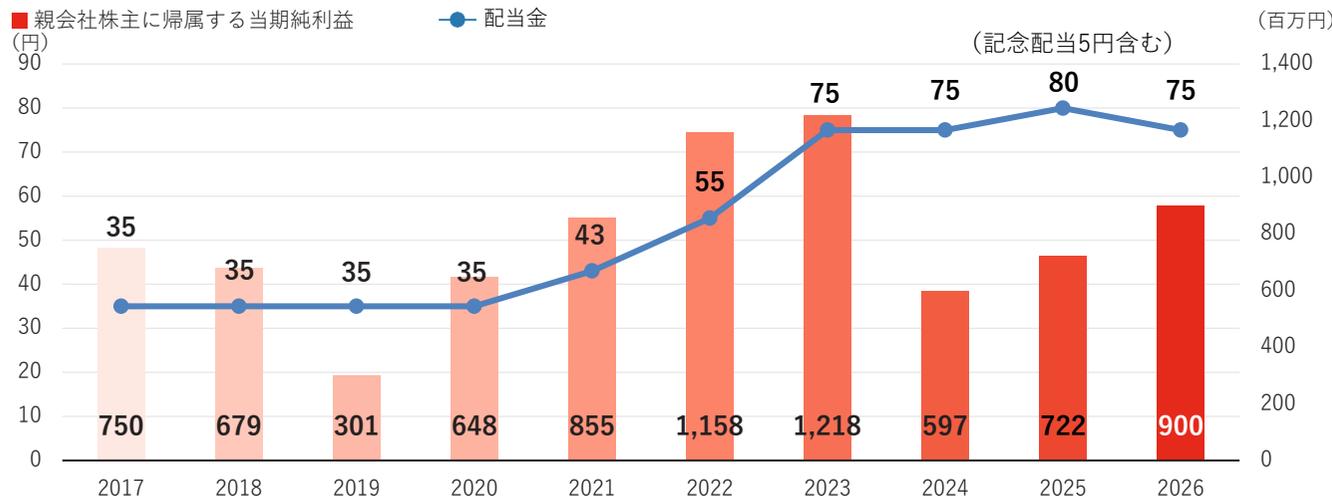
第8次中期経営計画達成に向け、4年目である2026年9月期は以下6項目を重点に活動いたします。

重点項目		取組み内容
④	人材活性化	個々の能力向上・行動改善
		心理的安全性を感じながら、働き甲斐と成長実感を得られる職場環境づくり
		組織風土改革と従業員満足度向上の実現
⑤	ガバナンス強化	BCM・BCP、製品安全・内部統制・コンプライアンスの体制強化
		グローバルでのグループ経営管理体制の高度化
		ITセキュリティリスク対策への取組み、サイバー攻撃への対応力強化
⑥	財務体質強化 デジタル強化	製品開発投資、設備投資、IT投資などの各投資の最適化
		製品・部品在庫の管理方法の見直しによる、在庫削減とキャッシュフローの改善
		技術本部を新設し、国内外の製品開発を統括し、グローバル目線での製品開発を実施
		在庫管理におけるデジタル化
		基幹システムの次世代化

株主還元

・ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、将来の事業展開に必要な内部留保・各種投資、業績見込みを勘案したうえで、配当性向30%程度を目安としつつ株主資本配当率（DOE）などの各種指標を加味し、安定的な配当を継続することを基本方針としております。また、健全な経営の維持と将来の経営環境への対応を勘案しながら、株主還元を更に充実させていくことは重要と捉え、今後、配当性向の向上、自己株式の取得、株主優待の充実に取り組み、長期安定的な配当水準の向上に積極的に努めてまいります。

・ 来期の配当予想額は 1株につき 75円



配当性向	22.9%	25.1%	56.1%	25.7%	23.5%	21.4%	27.1%	53.0%	43.4%	32.9%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

ご参考 - 配当性向	記念配当含む	記念配当除く
配当金のみ	43.5%	40.8%
株主優待を含めた配当性向	45.8%	43.1%

ご参考 - 総還元性向	記念配当含む	記念配当除く
配当金額	323 百万円	303 百万円
自己株式取得総額	390 百万円	390 百万円
合計	714 百万円	693 百万円
総還元性向	96.1%	93.4%
	(株主優待を含めた場合)	
	98.4% (記念配当含む)	95.7% (記念配当除く)



1

2025年9月期 業績概要

【2024年10月1日～2025年9月30日】

2

2026年9月期 業績予想

【2025年10月1日～2026年9月30日】

3

第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

2030年 長期経営ビジョン

社会の課題

- 調達難 ・ 材料高騰
- 世界的食糧難 ・ 水不足
- ウイルス対策
- 人材 ・ 労働力不足
- 環境問題
- 国際政治 ・ 経済問題

2030年 長期経営ビジョン

- SDGsに繋がるESG経営の強化
- 社会貢献型企业として成長市場に進出

目標

- 食・水・環境分野の社会課題解決
- CO2排出量 50%削減
- 女性管理職 7名

成長市場

【食・農業・畜産市場】

農薬の適量散布：大型防除機 ・ ドローン ・ ウルトラファインバブル製品による課題解決
 養殖 ・ 育苗：ウルトラファインバブル製品の投入

【環境市場】

消臭・節水・RO処理(水処理)・ミスト・気液混合・ウルトラファインバブルなどのポンプ技術による社会的課題の解決
 環境ニーズ ・ リサイクルニーズへの対応

第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

◆ 中期経営計画コンセプト：「成長事業の創出」

ESG経営の強化

攻めのESG

食・水・環境市場
社会貢献

守りのESG

持続可能な体制づくり
リスク管理・投資・ガバナンス強化



第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

- ◆ MUFB技術の更なる進化とスマート農業化の促進
- ◆ 既存技術の進化
- ◆ 品質対策と製品安全の体制強化

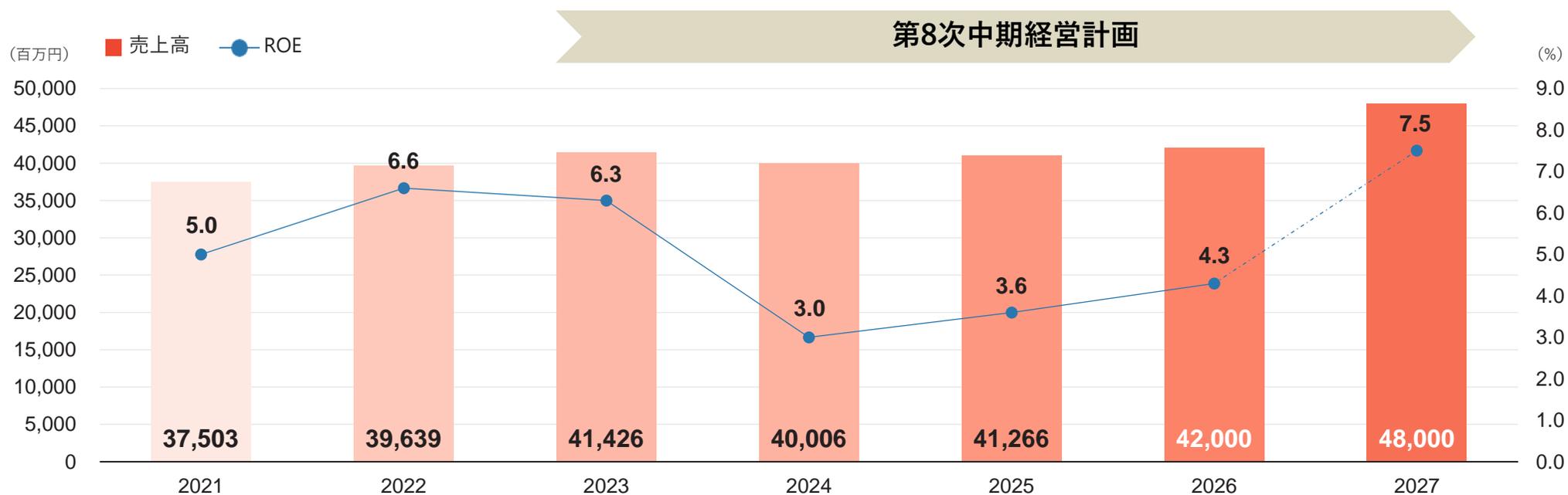
- ◆ 国内の新市場開拓・既存市場の成長
- ◆ アジア市場へのリソース拡大
- ◆ 海外売上比率35%を目指す
- ◆ アフターマーケット強化



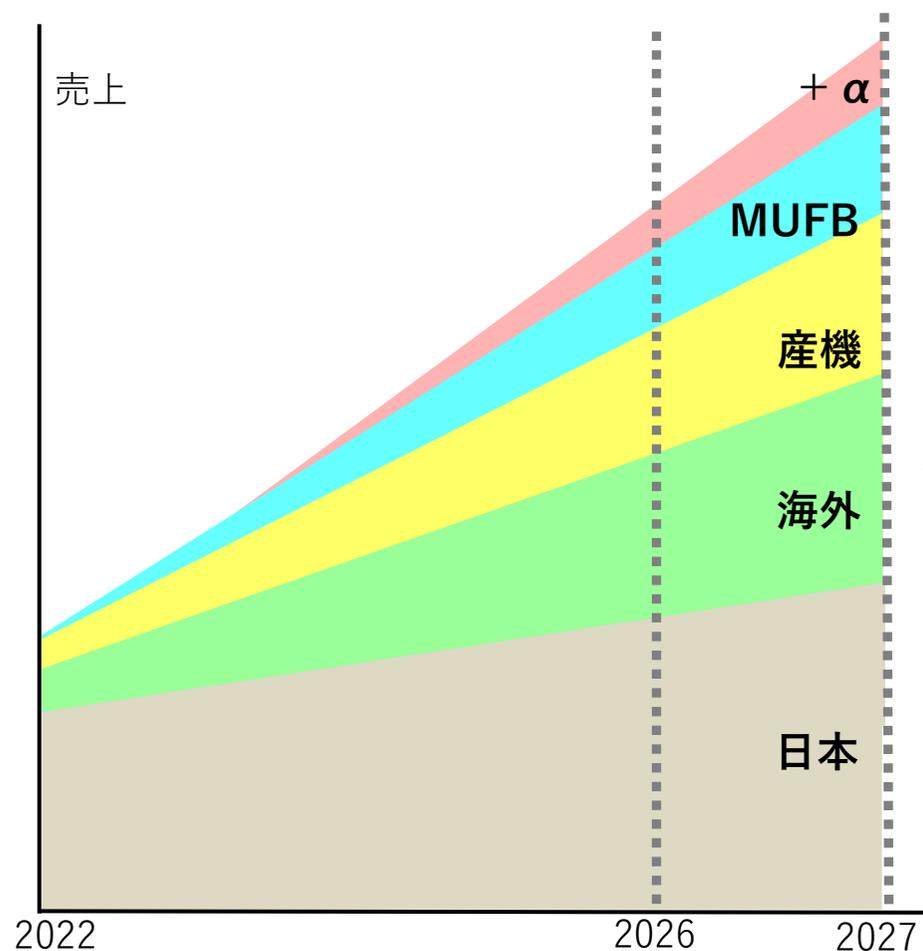
- ◆ ブランド力強化・ガバナンス強化
- ◆ 働き方改革・労働安全確保・従業員満足度向上
- ◆ 収益力向上・財務体質強化
- ◆ 丸山流DXを通じたイノベーティブな組織風土創造

第8次中期経営計画の目標

単位：百万円	2025年9月期 実績	2026年9月期 目標値	2027年9月期 目標値
売上高	41,266	42,000	48,000
営業利益	1,080	1,500	2,800
ROE	3.6%	4.3%	7.5%



第8次中期経営計画 事業成長イメージ



【MUFB市場・+α】

- ・ ウルトラファインバブル製品を海外市場を含め新規の流通へ展開
- ・ 市場ニーズへスピード感を持った対応を行うため、自社開発の他、協業による新規市場参入や製品開発を目指す

【産業用機械市場】

- ・ 新用途向けのポンプ製品開発を進め、国内外ともに更なる事業拡大を図る

【海外市場】

- ・ アジア圏の農業機械市場に対して日本国内成功モデルを拡販する
- ・ タイ現地生産法人による製品開発・生産を積極的に展開、更なる進出を図る
- ・ 海外人材を活用し、より細かな市場開拓、マーケティングによる拡販を図る

【日本市場】

- ・ スマート農業機器、IoT・センサー技術製品の開発、新環境型エンジン搭載製品の開発、バッテリー製品ラインナップの拡充により市場ニーズへ対応

成長事業の創出：海外事業の成長

インド



2年程度での操業開始予定で大型防除機生産拠点としてのインド自社工場の建設に着手いたしました。自社による調達・生産・販売に向けた活動を実施してまいります。

ベトナム



現地法人への販売部門設置による新流通の開拓するとともに、2年程度での操業開始予定で部品製造、ポンプ組拠点とした新法人・新工場を立ち上げます。当社グループのコストダウンの拠点とすべく展開してまいります。



タイ



タイ現地法人は引き続き、省人化・自動化・現地調達を推進し、トータルコストダウンに取り組めます。また、タイ国内での販売強化をしてまいります。

北米・中南米



米国において、大型防除機の新製品開発の販売活動に注力してまいります。コロンビア現地法人での販売を開始いたしました。本格的に市場参入し、売上の拡大を図ります。

成長事業の創出：MUFB(ウルトラファインバブル)技術

農業



- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量、甘さも増した
- ・減肥栽培に有益性が発揮された

水産業



- ・鮮度が長く保たれるようになった
- ・畜養での死滅率が減った

食品産業



- ・食器洗いなどの水使用量が大幅に削減された
- ・出汁の抽出力が高まり、出汁感がUP!



ウルトラファインバブルとは

1 μ m 以下の微小な泡

- 洗浄力の向上
- 浸透性の向上
- 生理活性効果
- 泡の長期滞在



家庭



- ・髪や肌がうるおった
- ・節水しながら洗い物ができる
- ・排水溝のニオイがなくなった

洗浄



- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩、除油作業の効率が良くなった

工業



- ・洗浄力の向上により洗剤の量が減った
- ・金属加工で使う切削液が長持ちした

ファインバブル活用事例集を基に当社作成：https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf

サステナビリティへの取り組み

丸山製作所グループのサステナビリティ



サステナビリティ方針

丸山製作所グループは、人と地球が笑顔あふれる世界を目指して、これからも食、水、環境に関わるハード、ソフトを提供し、安心できる社会の創造に貢献します。

社是である「誠意をもって人と事に當ろう」を実践し、以下事業分野において、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

事業を通じたサステナビリティ

食糧、水、温暖化、ウイルス、環境といった世界的課題解決に向け、当社のコア技術であるポンプとエンジンをさらに進化させ、SDGsに繋がる事業領域を将来にわたって継続的に拡大してまいります。

事業の土台となるサステナビリティ

ESG経営の実践を通じて、企業として強固な事業の土台を構築し、事業のサステナブルな成長と発展を支えていきます。

サステナビリティへの取り組み

事業を通じたサステナビリティ



食

安心安全な「食」を世界に届けることに貢献する

→食料の安定的な生産、農業の安全性向上に貢献し、農林業の未来を見据えた製品開発を行ってまいります



水

限りある「水資源」の保全に貢献する

→資源を有効活用し、水を変える技術を通じて環境負荷低減に貢献してまいります



環境

「環境」と「生命」を守るとともに、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献する

→安全で過ごしやすい快適な生活環境の創出に貢献してまいります

事業の土台となるサステナビリティ

E

取り組みテーマ

- カーボンニュートラルな社会を実現する
- 省資源化の実現と資源循環への取り組み
- 持続可能な調達活動・グリーン調達の取り組み

G

取り組みテーマ

- コーポレートガバナンスの強化
- リスクマネジメントの強化

S

取り組みテーマ

- 多様な人材の能力開発と働き甲斐を実現する
- 製品の品質と安全性の向上
- サプライチェーンマネジメントの強化

特定したマテリアリティ 事業を通じたサステナビリティ

区分	マテリアリティ	活動重要テーマ	NO	KPI	2030年度目標
事業	「食・水・環境」分野の社会課題解決	安心・安全な「食」を世界に届けることに貢献する	1	世界の食糧生産増加に貢献するスマート農業製品の開発と生産	スマート農業製品の市場導入機種拡大
			2	海外農業市場の機械化への貢献と販路拡大	海外売上高比率40%
		限りある「水資源」の保全に貢献する	3	水の力を最大限引き出すMUF技術の開発と販売	総売上高に対するMUF売上高割合の拡大
			4	節水が期待できる高圧ポンプの市場投入	超高圧タイプのリリース
			5	災害時に生活用水を生成するRO装置の販売	各自治体や、災害弱者施設への導入
		「環境」と「生命」を守るとともに、カーボンニュートラルな社会を実現する	6	コア・テクノロジーを活かした環境衛生機器（洗浄・除菌・消臭）の市場投入	防災関連分野、環境衛生分野市場への導入機種拡大
			7	温室効果ガス排出を最大限低減した内燃機関の開発	新型エンジンを搭載した製品の実用化
			8	バッテリーを搭載した製品の開発と生産	バッテリー製品の市場導入機種拡大

特定したマテリアリティ 事業の土台となるサステナビリティ

区分	マテリアリティ	活動重要テーマ	NO	KPI	2030年度目標	
E (環境)	人と環境の理想的な調和	カーボンニュートラルな社会を実現する	9	自社内で使用する電力の再生可能エネルギーへの転換	全体電力量の90%使用	
			10	自社から排出されるCO2量の削減	CO2量40%削減 (Scope 1)、50%削減 (Scope 2)	
		省資源化の実現と資源循環への取り組み	11	生産活動により排出される廃棄物量の削減	生産高原単位、廃棄物量20%削減	
		持続可能な調達活動・グリーン調達の取り組み	12	廃消火器の回収と、消火薬剤リサイクルの継続	自社販売消火器のリサイクル薬剤使用の継続	
			13	製品の有害化学物質管理の強化	サプライヤーからの有害化学物質管理のための宣言書の取得と自社内での管理体制の構築	
S (社会)	社会・従業員との共栄	多様な人材の能力開発と働き甲斐を実現する	14	成長機会の創造と人材育成	海外を含めたグループ各社経営幹部層へのサクセッションプラン拡大	
			15	多様な発想や価値観を持つ人材育成のためのDE&Iの推進		①柔軟な働き方ができる制度の確立 ②30%以上 (2027年度) ③7名以上 ④30名 ⑤30名
				①人事制度の充実、整備		
				②女性採用比率の向上		
		③女性管理職の増加				
④キャリア採用の拡大						
⑤グローバル人材の確保						
16	従業員全員が健康的に働ける環境づくりの推進		①健康経営プロジェクトによる啓蒙活動の継続 ②ホワイト500認定取得 ③90% (2027年度) ④50% (2027年度)			
	①健康経営推進					
	②ホワイト500認定					
17	③有休取得率の向上		③90% (2027年度) ④50% (2027年度)			
	④男性育休取得率の向上					
17		高度化するデジタル時代に対応できるDX、AI人材の育成	デジタル、AIスキルを身に付けた人材の拡大 (全社員の15%)			
	品の品質と安全性の向上	18	製品安全への取り組みの充実	重大事故とリコール件数の削減		
			安全で信頼性の高い製品開発、生産			
G (ガバナンス)	ガバナンスの強化	サプライチェーンマネジメントの強化	19	CSR調達の推進	取引先のCSRアンケート実施とフォローアップの徹底	
			コーポレートガバナンスの強化	20	法令順守とガバナンスのグローバル展開	法令に関する確認統制機能の強化と海外を含むグループ内での重大な法令違反ゼロの継続
		リスクマネジメントの強化		21	災害発生時の対応力強化	各部門におけるBCP訓練実施の継続
			22	情報セキュリティの強化と個人情報の適正管理	個人情報漏洩事故発生件数ゼロの継続	

TCFD宣言



TCFDへの取組方針

当社グループは、「食・水・環境」分野の社会課題解決をマテリアリティの一つとしており、世界規模で大きく影響を及ぼす気候変動への対応を重要な経営課題、大きな社会的責任として受け止めております。「誠意をもって人と事に當ろう」の社是のもと、人と環境の理想的な調和をめざして、グループ一丸となって取り組んでまいります。

指標・目標

当社グループでは、2050年のカーボンニュートラルを目指して、事業を通じた活動によるGHG排出量の削減を目標に、丸山グループ一丸となり取り組んでいきます。

項目	内容	基準	目標
			2030年
GHG排出量 (総量)	Scope1	2020年	40%減
	Scope2	2020年	50%減

項目	取組み
GHG排出量削減に向けた取組み	Scope3において、CO2削減に向けた実施フローを策定し、取引先と共有してまいります。また、自社開発を行っている環境配慮型エンジンを製品に実装し、既存エンジンから排出されているGHG排出量を削減いたします。



1

2025年9月期 業績概要

【2024年10月1日～2025年9月30日】

2

2026年9月期 業績予想

【2025年10月1日～2026年9月30日】

3

第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

貸借対照表

単位：百万円	2024年9月期 期末		2025年9月期 期末		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	38,706	100.0%	39,101	100.0%	+395	
流動資産	23,426	60.5%	22,700	58.1%	▲726	現預金の減少 販売在庫の減少
固定資産	15,280	38.5%	16,401	41.9%	+1,121	投資有価証券時価評価による増加
流動負債	16,033	41.4%	15,070	38.5%	▲963	短期借入金の減少
固定負債	2,842	7.3%	3,237	8.3%	+394	長期借入金の増加 繰延税金負債の増加
純資産	19,830	51.2%	20,794	53.2%	+964	その他有価証券評価差額金の増加

	2024年9月期 期末	2025年9月期 期末
自己資本比率	50.8%	52.7%
流動比率	146.1%	150.6%

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2024年9月期 期末	2025年9月期 期末	増減額	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	214	1,871	+1,656	仕入債務の増加
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,454	▲1,974	▲519	有形固定資産の取得
フリーキャッシュフロー	▲1,240	▲103	+1,137	
財務活動によるキャッシュフロー	1,504	▲836	▲2,340	短期借入金の返済
現金及び現金同等物期末残高	4,431	3,490	▲940	

会社概要

社名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 内山 剛治
本社	〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目4番15号
創業・設立	【創業】1895年 【設立】1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	412億66百万円（2025年9月期）
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上場	東京証券取引所 スタンダード
従業員数	【単体】591名【連結】977名（2025年9月30日現在）
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	https://www.maruyama.co.jp/



会社概要：沿革

- 1895年 新潟県高田町にて丸山商会を創業（日本で初めて消火器を製造）
- 1918年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967年 工業用ポンプを開発
- 1977年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990年 オリジナル2サイクルエンジン開発
（日本で最後発の2サイクルエンジンメーカー）
- 2000年 新環境型2サイクルエンジンを開発
- 2004年 消火剤リサイクル eco 消火器を販売
- 2012年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2016年 マルチローター（ドローン）の開発
- 2017年 ハイクリブーム3000Lタイプの開発
- 2022年 東証再編に伴い、スタンダード市場へ移行
- 2023年 2ストローク水素エンジン、安定運転に成功
- 2025年 **創業 130周年**



丸山式消火器



刈払機



バッテリー動噴



ブロワー



カーウォッシャー

キャビン付ハイクリブーム
(乗用管理機)

マルチローター (ドローン)

当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

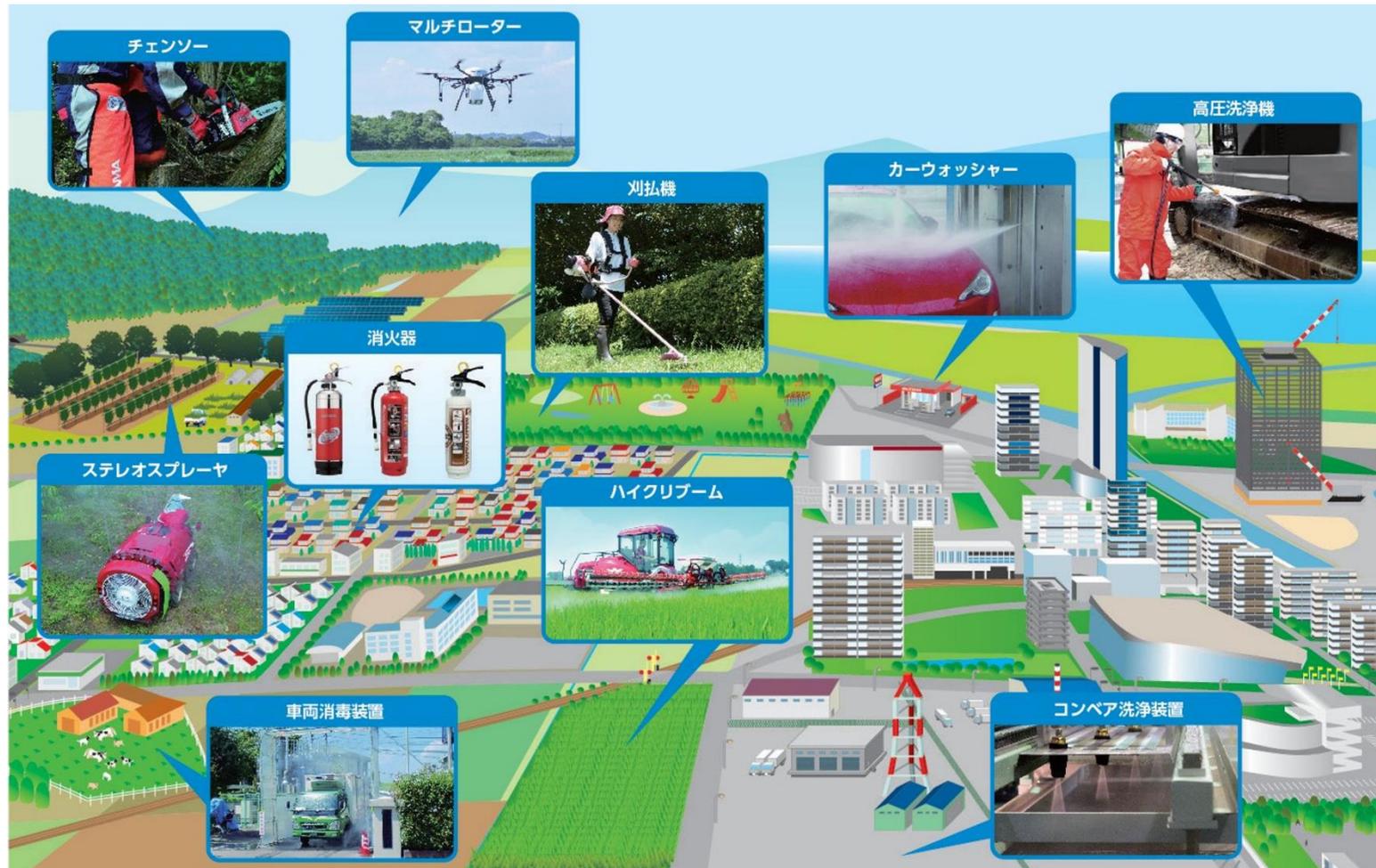
産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品



当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。



ポンプ & エンジン

当社の強み [製品]

当社の製品は様々な分野で高いシェアを獲得しています。



ポンプ製品の農業用防除機で
高いシェア



海外(北米)でのカーウォッシュ用
ポンプで高いシェア



エンジン製品の刈払機でホーム
センター流通において高いシェア

国内の販売・生産・サービス拠点

本社 東京都千代田区

生産拠点 4ヶ所
千葉県東金市（2ヶ所）
長野県須坂市
岡山県苫田郡

営業拠点 全国 25ヶ所
北海道（江別・帯広）／青森／岩手／秋田／
山形／宮城／福島／茨城／栃木／千葉／新潟／
長野／山梨／石川／愛知／静岡／大阪／広島／
岡山／香川／福岡／熊本／鹿児島／宮崎

物流拠点 3ヶ所
福島県／千葉県／岡山県

関係会社 日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社
M-Innovations株式会社
双葉商事株式会社

千葉工場 (東京ドーム3個分の敷地)



物流拠点(福島)



西部丸山(岡山)

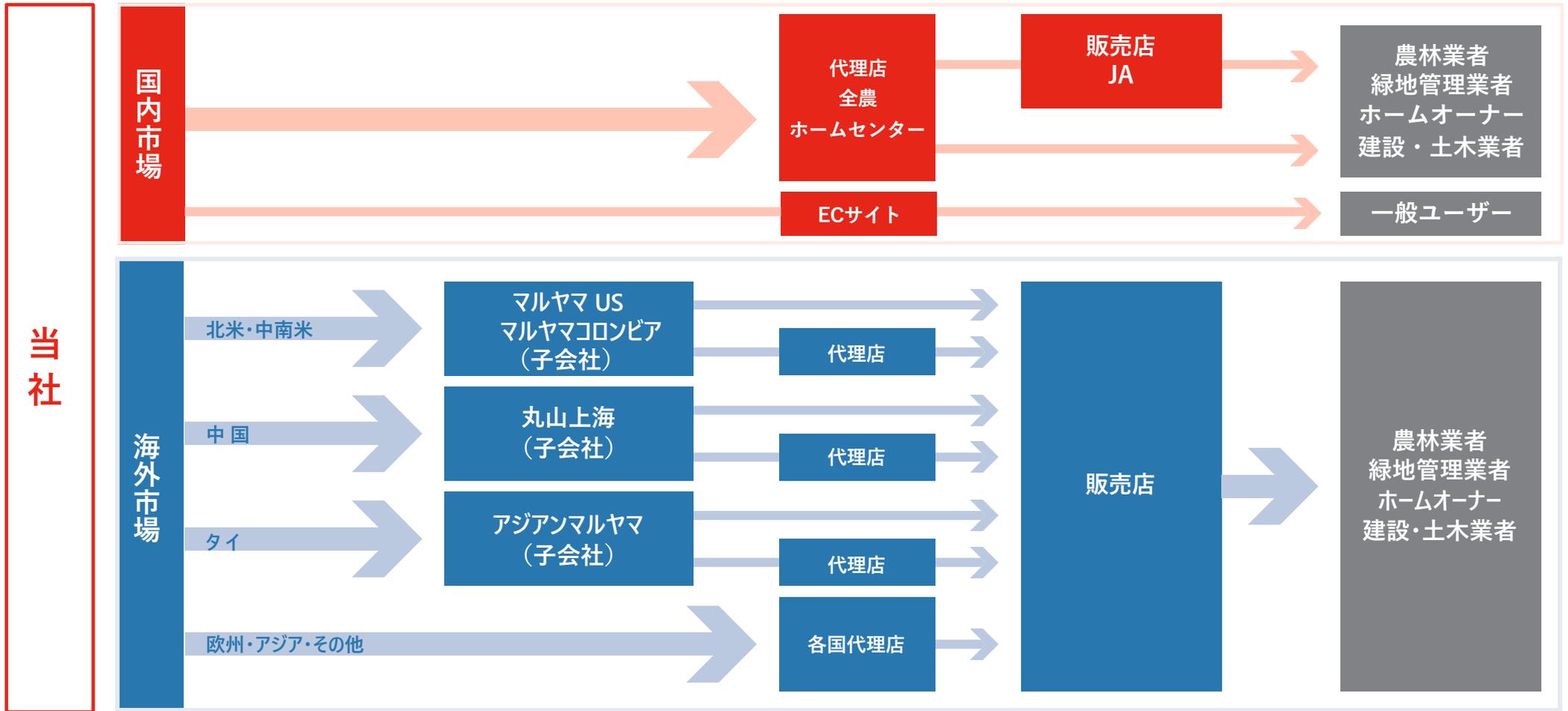


海外拠点・取引先

世界80か国以上の国々との取引実績



主な販売経路



ポンプを使用した工業用製品

スパウターによる消臭作業



テーマパークで使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水 RO



ポンプを使用した農業用製品

スタジアムの抗菌 抗ウイルスコーティング



牛舎での除菌作業



【畑・ビニールハウス】

バッテリー噴霧機



【果樹園】

ステレオスプレーヤ



【田・畑】

ハイクリブーム



【中山間地】

ドローン

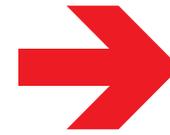


エンジンを使用した製品

刈払機



ブロワー



ヘッジトリマー



チェーンソー



背負動力噴霧機



当社の強み [生産体制]

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております。



[家庭用洗濯機向けウルトラファインバブル発生アダプタ「バブリッシュ」を発売!]

独自のウルトラファインバブル生成装置を提供する当社は、家庭用洗濯機の水栓に取り付けるだけでウルトラファインバブル水を生成出来るアダプタ「バブリッシュ」を7月から販売いたしました。

■バブリッシュの特長・効果

①洗剤・柔軟剤の効果をブースト

バブリッシュによって生成したウルトラファインバブルに洗剤や柔軟剤の成分が吸着し、繊維の奥深くまで浸透させ、洗剤・柔軟剤の効果をさらに発揮させます。

②給水ホース～洗濯槽～排水ホースまで洗濯機丸ごとキレイに

給水ホースから洗濯機、排水ホースまでウルトラファインバブル水が通るため、使い続けるほど給水ホースの内側や洗濯機、排水ホースもキレイになります。

③工具不要、10秒で簡単取り付け

洗濯水栓の規格に対応しているため、水栓を閉めて水栓と給水ホースの間に差し込むだけで簡単に取り付けが可能です。



創業から130年以上にわたり、水流を極めた当社のウルトラファインバブル技術により、微細な泡の力で繊維の奥深くまで洗剤・柔軟剤を届け、効果を最大限引き出します。これにより驚きの洗濯力を実現。毎日使い続けることで、効果を実感いただけます。

[様々な場所でMUFBウルトラファインバブルが活躍！]

MUFB ウルトラファインバブル発生装置が、JALグループの株式会社 JALUX様（東京都港区）を通じて、ダイタン商事株式会社様（東京渋谷区）の運営する「名代 富士そば」全店舗に導入されました。そば出汁の抽出時にMUFBで生成したウルトラファインバブル水を活用することで、さらに出汁感が向上したそばつゆの提供を実現しています。



また、車両洗浄用としてMUFB温水洗浄機が「網走バス」様「箱根登山バス」様「京王電鉄バスグループ」様に導入されました。バス車両に付着した融雪剤の汚れや油汚れをウルトラファインバブル温水で効果的に除去できる他、洗浄力向上と洗浄時間短縮により水や燃料の使用量削減に貢献する環境に優しい製品として期待されています。



今後も幅広い分野にて活用されるよう拡販に努めてまいります。

[サッカー]リーグ モンテディオ山形とのスポンサー契約締結]



2025年2月、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属し、山形県をホームタウンとする「モンテディオ山形」とのクラブスポンサー契約を締結いたしました。

2019年より「サプライヤーパートナー」として契約しており、ピッチに散水するステレオスプレーヤや、スプラッシュシートに噴霧する動力噴霧機等を利用いただいております。



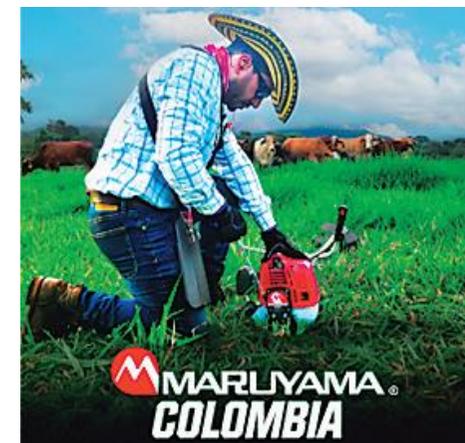
2025年からはワンランク上位の「クラブスポンサー」としてサポートしてまいります。8月には、ホームゲームイベントに丸山製作所ブースを出展いたしました。多くのサポーターの皆様にご参加いただき、当社の事業やアビリア、バブリッシュなどの丸山ウルトラファインバブル製品を知っていただく事が出来ました。

モンテディオ山形を通じて、丸山製品、丸山ブランドを世間にアピールし、認知度を高め、企業価値の向上につなげてまいります。

[コロンビア法人を設立、10月より製品の販売を開始]

当社は、コロンビアに現地販売法人「MARUYAMA COLOMBIA S.A.S.」を設立し、2025年10月より製品の販売を開始いたしました。

中南米有数の農業大国であるコロンビアは、コーヒー豆、生花、バナナ、パーム油など、世界的な競争力を持つ農産物の主要生産国です。ブラジルやメキシコのような大規模農業とは異なり、中小規模の家族経営農家が農業生産の大部分を担っているのが現状です。コロンビアの人口は増加傾向にあり、国内の食料需要も増え続けています。このため、小規模・中規模農家における生産性の向上と機械化が喫緊の課題となっており、当社の製品や技術が貢献できる余地が非常に大きいと判断し、法人設立に至りました。



長年にわたり培ってきた防除技術と、現場の声を反映した製品開発力をもって、成長ポテンシャルの高いコロンビア市場のニーズに応えるとともに、現地法人が主体となって製品販売後のきめ細かなカスタマーサポート体制を構築し、お客様に安心して長く製品を使っただけのようサポートしてまいります。今後もお客様の声を真摯に伺い、当社の製品とサービスを継続的に改善し、コロンビアの農業発展に貢献してまいります。

[日経・東証IRフェア2025に初出展]

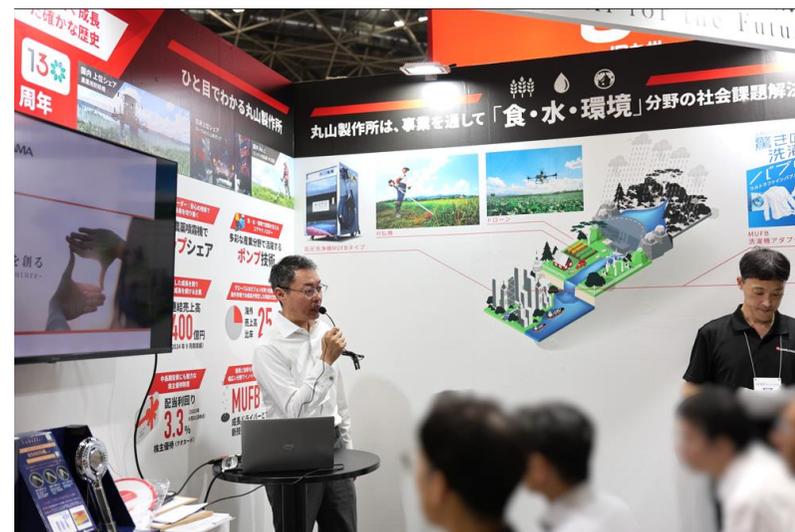
当社では、株主・投資家の皆様に事業活動へのご理解を深めていただくため、証券会社のWebサイトへ決算説明動画や企業説明動画を掲載するなど、個人投資家の方々への情報提供を進めています。

2025年9月には、「第20回日経・東証IRフェア2025」（日本経済新聞社主催、日本取引所グループ共催）に、初出展しました。本イベントは、合計で約1万9千人が来場する国内最大級のIRイベントであり、当社ブースにも予想を大きく上回る個人投資家の皆様にお越しいただきました。

当社ブースでは、30分おきに約10分間の会社説明会を実施し、事業内容や成長戦略、株主還元について分かりやすくご紹介しました。説明会には、社長をはじめ役員も登壇し、投資家の皆様へ直接お話しする機会を設け、来場者の皆様との対話が一層深まり、当社への理解を深めていただく貴重な場となりました。

また、用意していたノベルティは途中で全て配布しきるほどの盛況ぶりで、多くの方々と直接コミュニケーションを取ることができました。来場者の皆様から頂戴したご意見やご質問は、当社にとって非常に有意義なものであり、今後の企業活動やサービス向上に活かしてまいります。

今後も、投資家の皆様との対話を大切にし、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。



株主優待

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

- ・ ESG活動の一環としてQUOカード1枚につき10円を社会貢献団体に寄付することとし、自然保護等に役立ててまいります。

【贈呈対象】

毎年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様

継続保有期間	保有株数	株主優待
1年以上3年未満	100株以上	QUOカード1,000円分
3年以上5年未満	100株以上200株未満	QUOカード2,000円分
	200株以上	QUOカード2,500円分
5年以上7年未満	100株以上200株未満	QUOカード3,000円分
	200株以上	QUOカード4,000円分
7年以上	100株以上200株未満	QUOカード5,000円分
	200株以上	QUOカード6,000円分

注) 継続保有期間の確認にあたっては、3月31日及び9月30日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数並びに各回において100株以上の確認を基準といたします。

- ・ 1年以上3年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続3～6回記載
- ・ 3年以上5年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続7～10回記載
- ・ 5年以上7年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続11～14回記載
- ・ 7年以上：株主名簿に100株以上の保有を、連続15回以上記載

注) 以下の場合株主番号が変わり、継続保有となりませんのでご注意ください。

- ・ 証券会社の貸株サービスを利用して貸株された場合
- ・ 保有株式を全て売却した後に買い戻した場合
- ・ 株式をお預けの証券会社を変更された場合
- ・ 名義変更などにより株主番号が変更された場合

株主優待

当社はこのたび、株主様の更なる満足度向上及び、より多くの株主様に当社の事業へのご理解を深めていただくことを目的として、株主優待制度を一部変更（拡充・追加）し、楽天ECサイト内で使用できる割引クーポンを配布いたします。

【贈呈対象】

2025年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を保有されている株主様

水量たっぷりのシャワー状態でウルトラファインバブル水にできる					
シャワーヘッド 「habiller（アビリア）」	拡充	クーポン 割引率	50%		
ホースに取り付けるだけでウルトラファインバブル水の散水ができる					
MUFBノズル 「TeQ SHOWER」	追加	クーポン 割引率	40%		
洗濯水を丸ごとウルトラファインバブル水にできる					
洗濯機アダプタ 「バブリッシュ」	追加	クーポン 割引率	40%		



楽天ECサイト

クーポンは、当社の楽天ECサイト内で、対象となる株主様1名様につき1回限りお使いいただけます。また、クーポンの有効期限は2026年2月末までとなります。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp